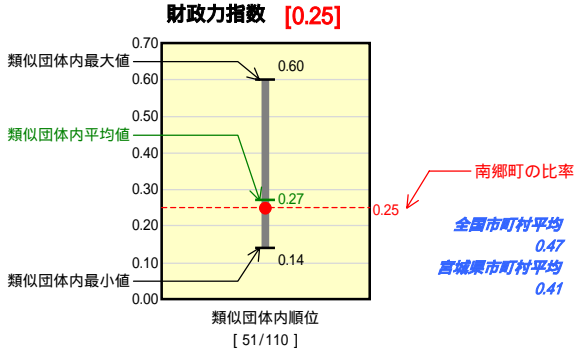


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

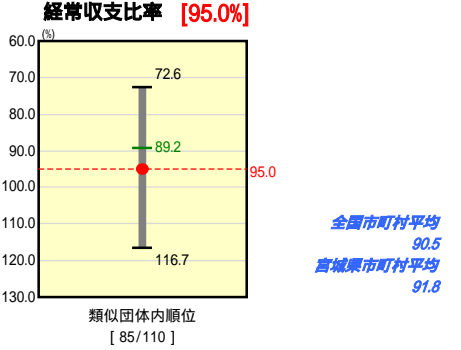
宮城県 南郷町

人口	6,970人(H17.3.31現在)
面積	39.52 km ²
歳入総額	3,791,899千円
歳出総額	3,704,352千円
実質収支	83,183千円

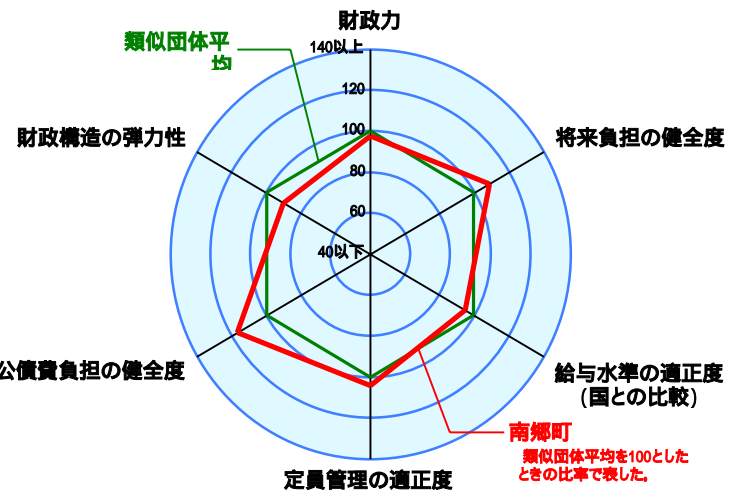
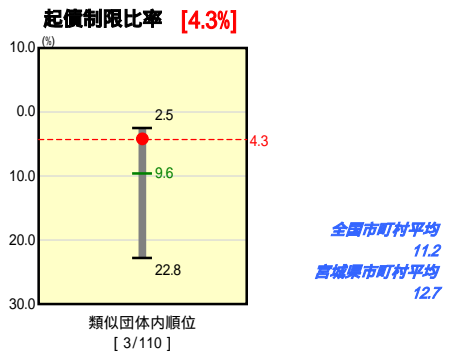
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数

- 人口の減少や25%の高い高齢化率であり、産業については稲作中心の農業であるため、財政基盤が弱く類似団体平均より下回っている。歳出の見直しと施策の重点化に努め行政の効率化により財政の健全化を図る。

経常収支比率

- 町村合併を前にして、投資的事業のすべての見直しを行っている。投資的事業が殆ど無いために経常収支比率が平均を上回っている。

起債制限比率

- 南郷町長期総合計画のもと、事業の重点をハード事業からソフト事業に転換してきている。また、住民との意見交換を図り、適量適切な事業により、類似団体平均を下回る結果となった。今後とも緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高

- 近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、平成19年以降国営かん排事業の負担金があり、新規の地方債発行額(160百万円)が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行の抑制により、類似団体平均を上回らないように努める。

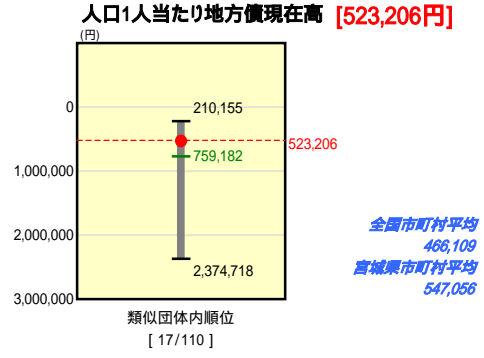
ラスパイレス指数

- 現行の給料表は年功的な体系となっており、上下の職務の級間での水準の重なりも大きいものとなっている。給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る。職務の級間の給料表水準の重なりを縮小、枠外昇給制度の廃止などの措置を講じることにより、類似団体平均である93.1%まで低下させる。

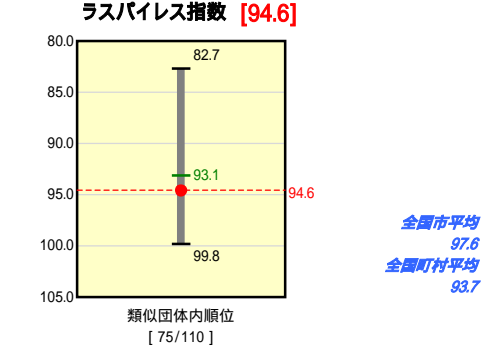
人口1,000人当たり職員数

- 保育所及び幼稚園等の専門職員を配置しているため、類似団体平均を上回っている。一般職員については、退職者の不補充により3年間で8人の純減を図った。今後とも定員管理の適正化に努める。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

